

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)		コンビニ（店長）	来客数の動き	・夏の最盛期のため、来客数、売上共に年間で一番良い数字となっている。ただし、天候に恵まれず例年よりは落ちている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンなどの季節商材は、暑さの影響で売上が前年比120%と伸びている。冷蔵庫や洗濯機などは、消費税の引上げ前に買換えを検討する客が増えている。そのため、販売量、単価共に伸びている。テレビなどは東京オリンピックを控えて客の関心も高く、引き続き堅調に推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暑い日が続いて飲料水、アイスがよく売れている。また、お祭り期間中も天候に恵まれて人も良い状態である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温の上昇が影響しているのか、8月の来客数は前月より3%改善しており、日販も前年比100%で推移している。
		家電量販店（従業員）	お客様の様子	・消費税の引上げ前という声が客から聞こえている。商品の説明をしても、購入するポイントとして「今がいいよね」というケースが増えている。暑さを過ぎた時期のエアコンなども、今のうちに購入してしまおうという客の動きがある。また、冷蔵庫、洗濯機、テレビなどの高額商材についても同様の声が上がっている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年を上回っている。販売単価も安定しているため、利益が取れてきている。ただし、需要期ではないために収益の絶対額は低い。このままの利幅で需要期に入ることを期待している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・8月上旬からの好天や気温上昇により、これまでと比較して販売量の前年比が改善している。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は市議会選挙があり、多少の影響がみられたものの、来客数は前年を上回っている。ただし、気温の高い日が続いたことで日帰り入浴客は伸び悩んでいる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要の影響により、やや景気が良くなっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・既存のサービスエリアを光ファイバー網に更新する工事が順調に進み始めている。既存客の新メニューの追加加入や新規客の加入も増えており、純増となっている。
		観光名所（職員）	単価の動き	・天候に恵まれて乗船人数が増えたことにより来客数が伸びている。さらに、まとめ買いをする人が多く、単価も非常に良い状態である。数か月前と比べると景気が上向いている。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・仕事量、売上共に好調に推移している。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・福祉施設、工場、事務所など、民間事業者からの問合せ件数が増えてきている。官公庁からはある程度の発注があるものの、受注者のダンピングが続いており、売上の計上はできても利益の確保は厳しいとみている。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・リフォームでは消費税の引上げを意識した工事が増えている。また、住宅設備は熱中症対策のためのエアコン取付工事が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候に恵まれて毎日好天の日が続いている。また、久しぶりに飲食などにヒット商品が出ており、若い人や高校生が商店街に集まるようになってきている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・当商店街の最大のイベントにおいては、6月の大型店舗の閉店による来街者数の落ち込みが懸念されたものの、各店舗の頑張りや創意工夫により前年度並みのにぎわいとなっている。	

一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑が続いたことで飲食店への販売量は好調である。ただし、お中元が思ったほど伸びずに苦戦を強いられている。今年のお中元は出足も鈍く、お中元を贈ることを控える企業もかなり目立って増えている。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・客単価の上昇で助けられたものの、これはたまたま単価の高い客が集中したお陰である。来客数自体は低調であり、全体的に横ばいで推移している。
一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・大きなカーテンなどの仕事はあるが、継続できる布団の仕立てや二次製品の売上が相変わらず伸びていない。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・低額商材の動きが鈍い状態が続いている。また、ここにきて高額商材の売行きにも減少傾向がみられている。
百貨店（売場主任）	単価の動き	・来客数は変わらないものの、客単価が全体的に低下している。春から続くこの傾向は今月も購買動向に現れている。
百貨店（買付担当）	お客様の様子	・化粧品など一部のカテゴリーについては消費税の引上げ前のまとめ買いがみられるものの、衣料品系は苦戦している。平均すると前年を上回っているが、カテゴリーによって差がみられており、必需品を優先的に購入する傾向が顕著である。
スーパー（経営者）	単価の動き	・8月は厳しい暑さが続き、涼味品、アイス、飲料、アウトドア商材などの動きは良かったが、暑すぎて昼間の来客数が低迷している。1品単価は前年並みだったものの、来客数が前年割れしているため、全体的な消費低迷の傾向に変化はみられていない。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店舗の販売促進活動が強く、来客数に影響している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数に変化がほとんどみられていない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月は高い気温が続いて来客数は好調に推移したが、天候不順で減少した7月の分までは取り戻せていない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今年は天候が不安定で東北地方も非常に雨が多く、流動客の流れが悪い状態である。一時的に気温が上昇して回復傾向にあったが、8月の後半からの急激な気温低下により、来客数は下降傾向となっている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・夏物セールが不振のため、秋物の立ち上がりを早めた結果、高額アウターを中心に売上が好調である。消費税の引上げ前の駆け込み需要もあるとみている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・地元の祭りは曜日の関係で例年よりも人出が少ない印象を受けた。宿泊客が減少したため、ホテルに出店した土産品の売上も減少している。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・7月末からの気温上昇により、ようやく夏物商材の需要が増えている。カジュアルを中心に好調に推移しているものの、この動きは短期間であるとみている。
衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・今年度になって初めて来客数が前年比100%に近い数字になっている。ただし、消費税の引上げ前の駆け込み需要による来店があったとみている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税の引上げ前にもかかわらず、販売量が伸びていない。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新規客の来客数、成約件数共に大きな変化はなく、消費税の引上げ前の駆け込み需要による受注もない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数に変化はみられない。また、消費税増税前の駆け込み需要も見受けられない。
乗用車販売店（本部）	販売量の動き	・直近の実績は、販売、サービス部門共に前年を上回る状況が続いている。ただし、来客数及び受注状況は前年比90%台と芳しくない。この状況が続くようであれば、前年割れの懸念がある。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・今月はある程度の来客数があったが、売上には結び付いていない。客のニーズの多様化により、製品が少ない小規模店舗には厳しい状況となっている。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上、販売単価に大きな変化はない。売上が伸びるように努力したいが、思うようにはいかない状態である。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・お盆の連休中は来客数が増加し、販売につながっている。また、猛暑であることもショッピングセンターへの集客にプラスに働いている。

その他小売 〔ショッピング センター〕(統 括)	来客数の動き	・お盆帰省客の来客数が増加したため、8月としては非常に良い数字となっている。
観光型旅館(ス タッフ)	販売量の動き	・高単価客室の販売停止と震災余波に伴い、来客数30%減少、売上20%減少と全体的に数字が下がっている。また、お盆期間は高めの宿泊料金を設定していたものの、間際で2割引きの販売をして何とか売り切った状況である。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・お盆の連休のため個人利用の宿泊やレストランは堅調だったものの、その分企業法人の利用が少ない状況である。
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・消費税の引上げを前に消費意欲が高まっているかといえばそうではなく、今までと全く変わらない状況である。前回の消費税の引上げのときとは違った動きとなっている。
旅行代理店(店 長)	お客様の様子	・東北地域から出発するインターハイや高等学校総合文化祭などの動きが目立っている。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・ボーナス商戦の声をほとんど聞くことなく、前月と変わらず市場が冷え込んでいる状況である。帰省時期でも例年と比較して混雑がなく、お盆渋滞というよりも事故渋滞がほとんどであった。世の中の習慣が少しずつ変化している様子であり、少子高齢化と地方格差の影響とみられている。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客の購買意欲に変化がみられていない。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・安価なものを最優先で買い求める傾向が見受けられる。
競艇場(職員)	単価の動き	・来客数に余り変化はないものの、客単価の減少幅が大きくなっている。
美容室(経営 者)	単価の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が増えているが、景気が悪いからこその駆け込み需要なのではないか。前年同月と比較して1.2倍の売上、販売量となっているが、景気が良いというわけではない。
美容室(経営 者)	お客様の様子	・美容室業界は今マイナスで推移しているが、魅力を打ち出して宣伝効果を上げる努力が必要である。
その他住宅投資 の動向を把握で きる者(住宅展 示場運営会社)	来客数の動き	・成約棟数は横ばいで推移している。しかし、来客数が大きく減少しているため、今後の成約棟数の減少につながることを危惧している。
商店街(代表 者)	来客数の動き	・消費税の引上げを前に値上がり相次いでおり、景気の悪さを実感している。
一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	来客数の動き	・8月は前半に抽選会、後半にカード特典ポイントサービスデーがある。抽選会の動きは良かったものの、ポイントデーは余り振るわない状況であった。来客数も前年比91%であり来客数が伸びていないことが最大の原因であるとみている。
百貨店(企画担 当)	販売量の動き	・販売量の動きが鈍く、売上も減少している。
百貨店(経営 者)	販売量の動き	・来客数に動きはないが客単価が減少している。特に衣料品はセールになっても買上点数が減少しており、不要不買の動向が顕著に現れている。
スーパー(店 長)	販売量の動き	・今月に入ってから来客数は前年並みで推移しているが、客単価が99.2%、売上が98%と、若干の買い控えがみられている。
スーパー(営業 担当)	お客様の様子	・特売やクーポン強化日は来客数が伸びるものの、その他の日は厳しく月間では前年並みとなっている。ただし、1品単価、客単価が低下傾向にあるため、売上が前年を下回るなど、無駄な買物をしないという節約志向が強くみられている。
スーパー(営業 担当)	お客様の様子	・天候不良で帰省が早まったこともあり、お盆期間の来客数は前年と比較しても伸びていない。また、お盆以降の買上点数も増えていない。
コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・建設業の客が増えず、農家の客もこの長雨で作物の生育が悪く収入が落ちている様子である。そのため、目的買いはあっても衝動買いはなく、売上も伸びていない。

	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続くなど、厳しい経営状態となっている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・近隣の会社でも住民にも高齢化が進んでおり、全体的に景気は非常に冷え込んでいる。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・お盆の9連休と猛暑により、秋物商材が全く動いていない。
	その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・お盆前はまずまずだったが、お盆後は例年以上に動きのない状態が続いており、特に定番商品の状況は深刻である。
	その他専門店【白衣・ユニフォーム】（営業担当）	販売量の動き	・8月は売上が前年をかなり下回るなど全体的に厳しい数字となっている。空調服に期待をしたが、東北では今一つぱとせず、厳しい暑さも短い期間であったため、購入には至らず残念である。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・これまでも低調に推移していたが、今月も連休が長かった反動により金をレストランで使わなくなっている。特にランチタイムの来客数減少が著しい状態である。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が例年と比較しても少なく、35年間の営業の中でも今が一番予約率と来客数が悪い状態である。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・選挙の影響か、来客数がかなり減少している。ただし、今回ほどの落ち込みは初めてであり、選挙の影響だけとは考えにくい。また、当店では消費税の引上げ前の駆け込み需要は見込めないため、全体的な雰囲気として景気が悪くなっている。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・消費税の引上げを気にしている人が多いが、キャッシュレスによる最大5%のポイント還元を知らず、また、教えても面倒に思うのか恩恵を受けている人が少ない。そのため、消費税の引上げばかりが気になり、今のうちに消費の切り詰めに慣れようとしているのか、買い控えをしている様子がうかがえる。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・お盆期間は例年並みで推移しているものの、その前後の落差が大きく、全体的な来客数はやや減少という状態が続いている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・リニューアルのため、お盆期間のイベント最盛期に宴会場を利用できなかったことにより売上が落ち込んでいる。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・8月のお盆休み期間中において、稼働している同業他社のタクシーが非常に少なくみえた。そのため、乗客を得たタクシーは売上を確保できたが、その他はそうでもない様子である。
	タクシー運転手	それ以外	・帰省人口は多い様子であったが、他業種である商店関係者の話によると、スーパーで食品を買い求める消費者以外で、土産品を買い求める人の数はかなり少なかったと聞いている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・消費税の引上げの話ばかりであり、他の案件の話にならない。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・お盆期間の曜日の並びが良く天候もまずまずだったが、期待したほど来客数は伸びていない。周辺の宿泊施設の利用率も前年より悪化しており、遠方からの来客数が落ち込んでいる。
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・上旬の暑さやお盆期間中の天候不順が響いており、来客数は前年を下回っている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・大きな宅地の売買予約が数件キャンセルとなっており、不動産の在庫が増えている。
×	一般小売店【書籍】（経営者）	販売量の動き	・新刊の販売量が著しく減少し、全体的な販売量も減少している。来客数はそれほど落ち込んではいないものの、販売量の減少に伴い売上も減少している。
×	一般小売店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・お盆までは来客数が良い状態で推移していたが、その後は客足が途絶えている。市議会選挙の影響もあるのか、街中まで人がこなくなっており、月後半は前年比が10%減少している。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・不安定な天候や気温の影響や、9連休というお盆休みで購買が分散化している。さらに、消費税の引上げを2か月後に控えて、大きな買い控えが発生している。
×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・暑い日が続いて買物をするために外出する意欲もなくなるのか、来客数が減少している。夏物はもうそろそろ終わりとなるが、秋物にもまだ早い時期である。

	×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・当店の業種では、夏の天候としては、初めが暑く終わりが寒いぐらいが理想的である。今年は途中から暑くなったものの、ビジネスマンの夏物需要が振るわず、大苦戦している。また、夏休みやお盆休みの長期化により、ゴールデンウィークと同様に、レジャーなどに金を掛けてふだんの消費を抑えている印象を受ける。
	×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注量の減少に伴い、販売量も減少している。
	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・7月から非常に良くない日が続いており、9月の予約も良くない状況である。
	×	通信会社(営業 担当)	来客数の動き	・お盆商戦は年々下降傾向となっている。特に、家族連れの来客数が減少している。
	×	通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・前月からは若干の回復の兆しがみえるものの、前年同時期との比較では販売量は80%という状況である。
企業 動向 関連 (東北)		-	-	-
		出版・印刷・同 関連産業(経理 担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前の売上は前年並みであったが、今月は前年比105%と伸びている。消費税の引上げ前の駆け込み需要が発生しているとみている。
		農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・桃の品質が良く、注文数は例年並みとなっている。また、お盆前に最盛期を迎えたことで、販売量は前年よりも10~20%ほど良い状態である。
		農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・米の価格が低迷状態から徐々に持ち直してきている。
		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量は前年同月の数字を何とか維持している状態であり、日々の売上に一喜一憂している。景気が厳しい状態であるという認識は、3か月前と変わりが無い。
		出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・単月では売上が前年を上回っているものの、飲食店などからは景気の良い話は聞こえてこない。
		窯業・土石製品 製造業(役員)	受注量や販売量 の動き	・地域間格差はあるものの、5年連続で前年度実績を下回っており、厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	それ以外	・特に大きな変化はみられていない。ただし、経済や政治の面で日本の景気を回復させる対策が余り見受けられないなか、日韓関係など景気悪化につながるような問題は多くある。
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・取引先の様子に特に大きな変化はみられていない。
		建設業(企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・改修工事などの受注量に大きな変化がなく、消費税の引上げ前の駆け込み需要も余り実感できていない。
		輸送業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・取引先により受注量の増減は様々である。全体的には3か月前と比べても余り変化はみられていない。
		通信業(営業担 当)	取引先の様子	・取引先からの値下げ相談が多くなっている。
		通信業(営業担 当)	取引先の様子	・設備投資よりも経費削減に重きが置かれている。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・投資信託、外貨保険の販売が鈍く、投資家は様子見の状況となっている。
		広告代理店(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・選挙の年のために選挙関係の仕事が多少あるものの、それ以外の受注量は減少している。
		コピーサービス 業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、現在は表立って商談件数が増えている実感がない。9月になれば増えてくるかもしれないが確信がもてない状況である。
	その他企業[企 画業](経営 者)	取引先の様子	・取引先の流通業では売上の前年比が僅かに伸びたが、当方の受注額の前年比は反比例して減少している。微減ではあるもののマイナスには変わりは無い。	
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・地元の祭りは新聞発表による人出は良かったが、土産物の売行きはかなり厳しい数字となっている。お盆商戦も余りばつとしないままである。	
	食料品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・原料の輸入価格が上昇傾向にあるため、販売価格も上昇しつつある。	
	電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・米中貿易摩擦の影響により、受注量、販売量共に減少している。	

	金融業（広報担当）	取引先の様子	・個人消費は概して回復基調を維持しているものの、一方で前年度産りんごの消費地市場価格が低迷している。当初仕入価格の高止まりもあるため、移出業者は利益の確保が難しい状況である。	
	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要による広告出稿に期待をしたが、余り活発ではなく、期待外れの感が強い。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・冷夏や長梅雨、市議会選挙など消費を抑制する要因が複数ある反面、消費を促進する要因が見当たらない状況である。	
	公認会計士	取引先の様子	・建設業関係は売上、利益共に前年比が減少傾向にあるものの、利益を計上している企業は多い。また、小売業も同様に前年と比較して業績は悪化傾向にあるが、こちらは赤字企業が増えてきている。	
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先から大幅に減産するというニュースが入ってきている。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年になってから徐々に悪くなってきており、今月の売上も前年比92%と落ち込んでいる。
雇用 関連 (東北)	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・大手外資生保の大口派遣供給が安定しているなか、大手フリーマサイト事務センターの単独注文が成約している。連続しての大口供給で景気は上向きになっている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新卒採用に苦戦している企業が、中途採用に動くケースが増えている。	
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・建設資材の商社、加工製造の企業などは、建設物件の減少に伴って受注量が減少している。そのため、従業員が辞めても欠員補充をしない企業が増えている。また、外食産業での採用についても、3か月前と比較して同じ状況であり、こちらも積極的に求人をしていないで欠員補充のみを行うような企業が増えている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・目の前の採用苦戦の諦観に加えて、東京オリンピック後の景気低迷を想定して増員採用を手控える企業が散見されるなど、企業の採用活動に鈍化の兆しがみられている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・同一賃金同一労働の動きもあり、企業は様子見をしている。	
	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・受注の動きは落ち着いてきており、特に変化はみられてない。	
	新聞社 [求人広告]（担当者）	求人数の動き	・サービス業を中心にようやく求人が増え始めている。また、参議院選挙による企業の様子見が終わって少し動きが出てきているが、これが景気の上向き感のためなのかは少し様子をしないと判断できない。	
	新聞社 [求人広告]（担当者）	それ以外	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が全くみられていない。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数、求職者数共にそれほどの動きはない。今後の景気状況や、米中貿易摩擦による中国経済の動き、韓国、欧州などの動きに非常に神経質になっている企業が多いのではないが。ただし、現状では景気状況に変化はない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、月間有効求人数共に3か月前より減少している。前年同月との比較では増加しているが、特徴的な動きはないため、景気は余り変わっていないとみている。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の解雇が増えている。	
	学校 [専門学校]	周辺企業の様子	・消費税の引上げが10月に迫り閉塞感が漂っている。景気が落ち込まないようにいろいろな情報が公開されているが、果たしてそれが浸透しているのか否かが微妙である。	
	その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・製造業では、受注量の減少から従業員の休業を開始する企業が出始めている。	
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・中小企業の雇用情勢は一向に改善しておらず、首都圏主導の成長率である。地方はまだまだ停滞している。